

平成 16 年度「特色ある大学教育支援プログラム」

採択取組の概要および採択理由

大学・短期大学名	新見公立短期大学	整理番号	2-5-026
応募テーマ	主として大学と地域・社会との連携の工夫改善に関するテーマ		
取組名称	地域と創る「にいまこどもフェスタ」		
申請単位	学科単位		
申請担当者	片山 啓子		
<p>(取組の概要)</p> <p>「にいまこどもフェスタ」は、全国初、唯一の広域事務組合立として地域により設立された新見公立短期大学と、その主たる設置母体である新見市の公立ホール「まなび広場にいま」とが共同開催している幼児教育学科の表現発表会である。</p> <p>この取組の大きな特色は、ホールが地域文化への寄与及び青少年の健全育成を目的とする自主企画事業として主催し会場を提供、本学幼児教育学科が作品構成や舞台演出を担当する共催の形で連携して開催していることである。また、平成 16 年度で第 14 回を迎えるこの発表会は、当地域の定期公演としては最大の観客動員数を誇り、その舞台構成や表現技術に対する来場者からの高い評価も大きな特色である。</p> <p>「にいまこどもフェスタ」は、子どもたちにできるだけ質の高い舞台を提供することにより地域への貢献となり、学生にとっては、表現力はもちろんのこと、保育者としての様々な資質を育成することのできる非常に教育効果の高い取組となっている。</p>			
<p>(採択理由)</p> <p>この取組は、新見公立短期大学の基本理念である「誠実、夢、愛」をもとに幼児教育学科全学生が各々の役割を持って参加する表現発表会として、14 年間にわたって実施されている取組です。</p> <p>この取組は、実施プログラムの内容等についてすべてオリジナリティにこだわり、教育と地域貢献をとおして学生のモチベーションや学習内容の向上を図っており、他大学にみられない特色も認められます。幼児教育・保育系の短期大学では同種の取組が見られますが、この取組はレベルが高く、新見市公立ホールの定期公演としては最大の観客を集め、市内のほとんどの幼児が参加しているなど、地域から大きく支持されています。また、公演の中で「メディア媒体の活用」していることは、IT 社会の中で、幼児教育を専門とする学生に必要な技術を学ばせるといっても優れた取組であり、他の短期大学の参考になり得る優れた事例であるといえます。</p> <p>今後は、ビデオオンデマンドによる配信や公演録画ビデオの活用や巡回公演を行うなど、より多くの幼児が公演を鑑賞できるよう、さらなる努力と工夫を重ねられることを期待します。</p>			